

オリンピックによるハンドボール教室

実施学校名 世田谷区立弦巻小学校

日時 令和7年11月18日（火）

場所 体育館

プログラム概要



- ・東京2020大会とパリ2024大会で、ハンドボール日本代表として出場した部井久アダム勇樹氏を講師に迎え、パスとシュートの実技披露と指導が行われました。その後、児童による試合を実施しました。
- ・児童は、講師のダイナミックで迫力のある実技を間近で体感し、オリンピックと一緒にプレーする特別な体験を通じて、体育の授業では経験したことのないハンドボールの魅力を感じることができました。

体験風景

1 | 講師紹介



部井久講師とサポートを務めるプロハンドボールプレイヤー・細川智晃氏による自己紹介の中で、「体験を通じてハンドボールの楽しさを知ってもらいたい」という思いが児童に伝えられました。

2 | 実技披露



ハンドボールの醍醐味であるジャンプシュートが披露されると、講師のダイナミックなフォームや跳躍力、そしてボールがゴールネットに突き刺さる迫力に、児童から驚きの声が上がりました。

3 | 練習



児童は、講師からシュート時の足の運び方、パスを投げる時に相手を思いやる気持ちの大切さ、パスを受ける時の手の位置・形など、基礎的な指導を受けた後、パスとシュートの練習を体験しました。

4 | 試合



チーム対抗試合では、初めてハンドボールを体験する児童が元気にプレーを楽しむ姿が見られました。体験後、児童から「またハンドボールをやりたい」という声が聞かれました。

参加した児童の声・反応



- ・ハンドボールでゴールキーパーをやったり、ボールを投げたりすることが楽しかったのでまたやってみたいです。
- ・運動が苦手な私でも楽しく上手にできたし、普通のボールだとできないパスが、ハンドボールだとできたからまたみんなで試合がしたいです。
- ・私はハンドボールをやったことがなかったので、はじめは難しかったけれど、だんだん慣れてきてパスもできました。ハンドボールで勝ったり負けたりしたけれど楽しかったです。